



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

法華經の功德

住職 平田真純

当山の法要やお勤めの時に読誦される、「観音經」の正式な経題は「妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五」となります。これは、「妙法蓮華經」略して「法華經」の二十五品（二十五章）の「觀世音菩薩普門品」という一章であることを表しています。私たちが通常読誦している漢訳の「法華經」は二十八品で成り立っており、「観音經」はそのうちの一品です。

「法華經」は、我が国において、仏教伝来以来、護国經典（国を護る經典）として、また民衆への布教經典として、常に大変重んじ続けられている經典です。古くは聖徳太子が「法華經」「維摩經」「勝曼經」の三經典の注釈を著し、飛鳥時代以降、朝命により諸國で護国三部經として「法華經」「金光明經」「仁王般若經」を読誦する法會が営まれ、後にはこの法會で庶民の除災招福をも祈られるようになりました。「法華經」を所依の經典として仏法を説く天台宗をはじめとして、宗派を超えて現在でも読誦・講義されています。なぜこのように特別に重んじられているのでしょ

うか。

たとえば私たち社会の中に生きる人間という観点から「法華經」の内容の意義をひもとくと、社会の中の一人としていかに生きるか、そのよりどころが暗示されていることを感じます。大きくは国や社会、そしてそれを構成する一人一人の人々、双方の因縁が結びつくからこそ、護国經典として、また民衆の經典として、ともに重用されているのだと思われま

人間の体は、何十兆個もの細胞から成り立っているのですが、体全体を全世界、あるいは国、あるいは社会と仮定すれば、一個一個の細胞としての私たち一人一人の存在・役割がいかに重要なものであるかがわかると思います。一人一人が機能を失えば、全体が崩壊してしまいます。

「法華經」は、一人一人が救われ、健全な精神が保たれることで、社会全体がより良く機能するという思想が流れているように思われます。その具体的な救済をつかさどるのが「観音經」に説かれる観音様のお役割であると思います。十一面観音様の応化であられる聖天様もそのお役割にのっとった尊天であるに間違い

ありません。

今月の行事から

二月三日（火）午後三時

節分会大法要を厳修いたします



「福は内、福は内」威勢の良
い掛け声で年男
たちが山内で福
豆や福餅などを
撒く、節分会大
法要を執行いた
します。

当山は尊天様
がご守護される
霊山であるため

悪鬼などはいないので、「鬼は外」とは唱えないことが古来より風習となっております。

当日は浅草寺より数名の一山住職をお招きして、参道を大行列で本堂に入堂いたします。堂内で僧侶が般若心経を何巻もお唱えする中、年男たちが本堂や参道で豆まきをいたします。

最後に唱えられたお経を以て節分札をお加持して皆様にお分けいたします。

ご自宅で豆まきの後に、玄関にこの節分札を貼ると、今年一年厄災が家に入る事を防ぐといわれております。

参道ではお神酒も無料でふるまわれますので、皆様お誘いあわせの上ご参拝ください。

節分札 一組 五〇〇円也

一升枮（福豆入り） 三、〇〇〇円也

一合枮（福豆入り） 五〇〇円也

※節分札のおまつりの仕方

家の中から外に向かって、左に「節分」、右に「立春」の札を向かい合わせに貼ります。

二月二十日（金）午前十一時

浴油講を執行いたします

毎朝当山で修される浴油祈祷。

これは清浄なる胡麻油を以て御尊像をお清めして、諸願の円満なる成就を祈願する尊天様独特のご供養法であり、密教の中でも特に修行を積んだ行者にのみ修法が許される秘法とされております。

この浴油祈祷にもちいる最上級の胡麻油のご寄進を募るために、今年も浴油講を執行い



お練り行列に際にお練り行列に際して、番傘を十本ご奉納頂きました。ありがとうございます。『待乳山』の名前入りです。雨のお練り行列に立ち会われた方は、是非、番傘にもご注目ください。

たします。講金の一部より油代に充当いただきさせていただきます。また一斗缶のご奉納も受け付けております。尊天様とのご縁を深め、いっそうなるご加護を戴けますよう、皆様お誘い合わせの上お申し込みください。



講金 一、五〇〇円也

奉納胡麻油一斗缶 一五、〇〇〇円也

ご奉納 三崎登子様

行事報告

十二月二十二日(月) 午前十一時

星まつり百味法要を厳修いたしました。



一年間の厄除けを祈願する星まつりが行われました。

声明が唱えられる

と、平田住職は法要壇の前へと進み、諸仏に對して投地礼をされた後、着座いたしました。そして内陣に色とりど

りの散華がまかれ道場を清められました。

経段が始まると住職により皆様のお名前とお年が書かれた星祭のお守りがお加持され、法要後各自に授与されました。

一月七日(水) 午前十一時

大般若講大根まつりが執り行われました。

当山新年最初の大法要、大般若講大根まつりが執り行われ、参道は大勢の参拝者で賑わいました。



十一時の大太鼓の合図でお練行列が本堂へと上って行きました。先頭で入堂した世話人によって風呂吹き大根と樽酒がまず一番に尊天様に

引き続き平田住職の導師で大般若法要が執り行われました。経本を大きく広げて「降伏一切大魔最勝成就」の掛け声で経箱に伏せ打つ転読作法でご参詣の皆さまの開運厄除を祈願しました。

法要が終了すると、参道では風呂吹き大根がふるまわれました。裏の公園を縦断するほ



どの長い行列で並んで待っていた人たちは、身体健勝を願う暖かな大根を皆笑



顔で召し上がっております。

朝まいり会継続者に記念品授与(二月度)

朝まいり会を長い間継続されている左記の方々に、記念品が授与されました。(敬称略)

二年 相澤和子

半年 鈴木真知子 藤間香寿 松村健三郎

正月のアナウンスを新しく致しました。

テレビなどで声優としてご活躍中の寺瀬今日子様に、正月

案内のアナウンスをお願い致

しました。

ホームページリニューアル

朝参り会の会員である浅野智

美様に、待乳山のHPを作成

していただきました。とても

見易く、判りやすいHPとな

っております。



2月待乳山行事予定表

朝まいり会	2月1日～7日	午前8時から8時半	会費	月 500円也
1週間のうちで都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。				
最終日の7日には、読誦終了後に食事作法を行います。				
節分会	2月3日(火)	午後3時	節分札1組	500円也
僧侶が一年分のお経をお唱えする中、年男による豆まきが行われます。				
福餅(福豆付) 1升枱3,000円 1合枱500円				
写経の会	2月8日(日)	午前10時/午後1時	会費	500円也
心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。				
日曜勤行	2月8日(日)	午前9時	参加費	無 料
初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。				
坐禅の会	2月11日(水)	午後6時開堂 午後8時まで	定員30名	参加費500円也
夜間の本堂にて、坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。				
浴油講大法要	2月20日(金)	午前11時	講金	1,500円也
毎朝の浴油祈禱に使う胡麻油をお供えします。				
合同大般若法要	2月25日(水)	午前11時	法要料	5,000円也
心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆様とご一緒にお上げする御札の法要です。				
夜間開堂	2月25日(水)	午後6時～8時まで	参加費	無 料
午後7時より、お勤めと法話がございます				
3月の行事	婦人講	3月20日(金)	午前11時	講金 1,500円也
	稻荷大祭	3月31日(火)	午前11時	講金 1,500円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油祈禱よくゆは、密教の修法の中でも最も深秘の法とされています。この供養法により聖天様のお力がより一層高められ、私共が不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修ごんしゅうしております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

べつざせき
別座祈禱 一万元以上 (二週間)

よくゆきとう
浴油祈禱 二千五百円以上 (二週間)

けすいく
華水供 五百円/一日 (お札は出ません)